

なぜ「学ぶ」のか？

夢

本パンフレットでは、「夢」＝「将来就きたい職業」とし、それに向かう「船」＝「子ども」と捉え、夢にたどり着くために付けていきたい力を「学習の手引きダイジェスト版」としてまとめることとした。

夢に向かう航路はさまざまじゃ。今、船は上郡小学校という港を出港したばかり。これから夢に向かって進んでいくにあたり、小学校で大切にしていきたいことについて、航海を例に説明しましょう！



大学（院）・短大 専門学校



選 択



高等学校



選 択



中学校



上郡小学校



航海に**必要**なものは？



地図

キャリア教育

目的地までの航路を正確に読み取るもの。子どもたちにとっては、夢に向かうための「**キャリアマップ**」がこれにあたる。



食料・航海道具

文具

忘れ物

航海をする上で必ず必要なもの。学習では、毎日使用する「**文具**」がこれにあたる。



通信機器

連絡帳

忘れ物

外部と連絡を取り合うための手段。子どもたちにとっては、学校と家庭をつなぐ「**連絡帳**」がこれにあたる。



羅針盤

家庭学習ノート

航海では、進む方向性を指し示すための道具。家庭学習ノートにおいては、「**めあて**」「**ふり返し**」がこれにあたる。



基礎的な知識・技術

家庭学習ノート

航海を行う上で、必要な知識や技術。家庭学習ノートでは、思考を整理するための「**見やすいノート**」がこれにあたる。



風

家庭学習ノート

帆掛け船が進むために必要不可欠なもの。子どもたちのやる気のモチベーションを引き出す、親や学園の先生からの「**励ましのコメント**」がこれにあたる。



対応力

家庭学習ノート

不測の事態や様々な状況に対応していく力。家庭学習ノートでは、基礎的な学習の力を生かして応用的な学習を行う「**思考力**」がこれにあたる。

次のページからは、
これらのことを具体的に
説明していくぞ。





= キャリアマップを知る

航海では、まず、目的地までの航路をしっかりと知っておくことが大前提となります。

もし、目的地が定まっていなかったり、どの航路を通って行けばよいか分かっていなかったりすると、当然、目的地にたどり着くことはできません。

夢に向かう時も同じことが言えます。夢に向かうまでの道のりが分かっているのと分かっていないのでは、学習の仕方も大きく変わってきます。夢に向かうまでの経路を図にしたのが「キャリアマップ」です。キャリアマップを見ると、自分が夢に向かうまでに通る道が分かり、短期、長期の目標を設定しやすくなります。



下の図は、おまわりさんになるための「キャリアマップ」じゃ。おまわりさんになるのにも色々な道があるんじゃな。



★各職業のキャリアマップは、キャリア教育・職業調べサイト EduTown あしたね（エデュタウン あしたね）【東京書籍】から調べることができます。

あしたね





＝子どもに合った文具選び

航海をする上では、それに必要な道具や食料の準備が欠かせません。学習において、必要な道具と言えば「文具」です。いつも使う文具は、使いやすいものが一番です。使いやすい文具は学習の質を高めていきます。特に低学年では、使いにくい文具を使うことで学習の効率が下がり、集中できなくなる場合もあります。

また、筆箱の中身は子どもが把握できるように、数を決めておくことも大切です。

消しゴム

- ・白のシンプルなものが良い（見た目よりも、使いやすさを重視しましょう）

定規

- ・短めが良い（筆算のとき便利）
- ・透明のもの（下が透けて見ると、定規を合わせやすい）

えんぴつ

- ・Bか2Bが良い
- ・5本程度（赤えんぴつも入れて）
- ・青えんぴつは、必要に応じて使いましょう。
- ・無地が良い
- ・家で削っておきましょう。
- ・低学年はソフトなものを使う方が書きやすい。（筆圧が弱いため）



下敷き

- ・無地が良い
- ・低学年はソフトなものを使う方が書きやすい。（筆圧が弱いため）

その他

- ・高学年になると、赤及び青えんぴつは赤と青のボールペンでもいいですね。（キャップのもの）細かい字も書きやすいです。
- ・油性マジック（名前を書くのに便利）

文具に限らず、学校で必要なものは自分で準備する習慣を身に着け、忘れ物をしないことも大切な事じゃ。





= 学校と家庭をつなぐ

連絡帳

航海では、今の状況を伝えるためや、緊急の場合に備えて、外部と連絡を取り合う通信機器が必要不可欠です。小学校において、この通信機器にあたるのが『連絡帳』です。連絡帳には、次の日の時間割だけではなく**たくさんの情報が詰まっています。**

子どもは学習の準備物をきちんと揃え、家庭学習をしっかりと行うことで、次の日のスタートを気持ちよく切ることができます。また、**連絡帳は学校の様子や学習の内容を子どもと話すきっかけにもなります。**そのためにも、連絡帳を必ず親や学園の先生に見せる習慣をつけることが大切です。

そして、サインをして返すときに「ていねいに書けているね」「明日のテストがんばってね」など一声かけて返してあげ、**連絡帳を子どもと話をするツールとして活用**しましょう。

連絡帳の中身

- ・ 次の日の時間割と準備物
- ・ 学習の予定
- ・ その日の宿題
- ・ 持ち物



- ①連絡帳には、情報がたくさん
- ②連絡帳は必ず親や学園の先生に見せる
- ③サインをして一言そえて返す



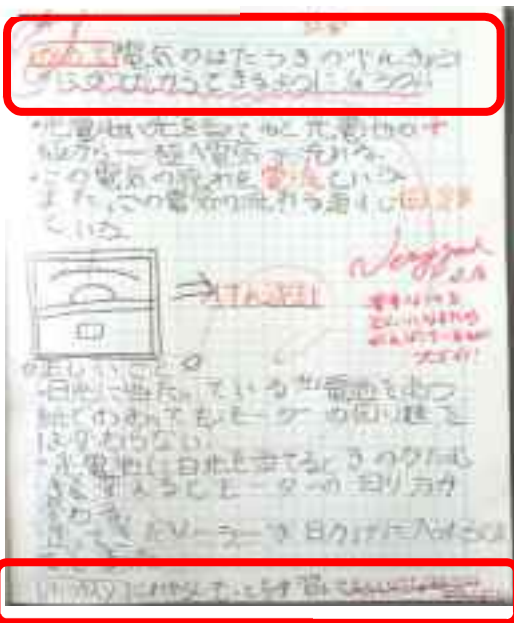


= 「めあて」と 「ふり返り」

「羅針盤」は自分が進む方向を確かめるための道具。家庭学習ノートを行う時に、自分が進んでいる方向を確かめるのは、「めあて」と「ふり返り」です。その日の学習内容に合わせた「めあて」を書き、学習後にそれができたかを「ふり返り」で自己評価をします。「めあて」と「ふり返り」が具体的にできればなるほど、学習の効果は高まっていますと言えます。

めあてを書くことで、自分は「何を」がんばるのかを感じよう。

めあて



ふり返り

「めあて」が達成できないときは、「ふり返り」、『なぜか』『どうしたらよいか』を考えましょう。

めあてのポイント！

- ① 学習内容に合わせた「めあて」を書く
- ② 「学習の仕方」についてのめあてを作る
- ③ 「学習内容」についてのめあてを作る

ふり返りのポイント！

- ① 「ふり返り」で自分を客観的にみる
- ② 「めあて」と「ふり返り」は1セット
- ③ 「めあて」は「ふり返り」で達成したら上方修正し、できなかったら下方修正する。





＝ 見やすいノートを作る

航海には、様々な知識や技術を要します。

逆に言うと、知識や技術がない上での航海は

命取りとなります。家庭学習ノートにおいて

身に付けておきたい基礎的な知識・技術とい

えば、やはり「見やすいノート作り」です。

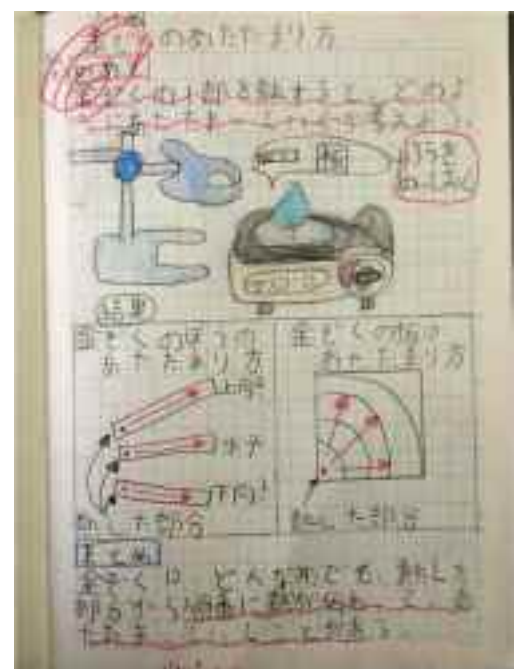
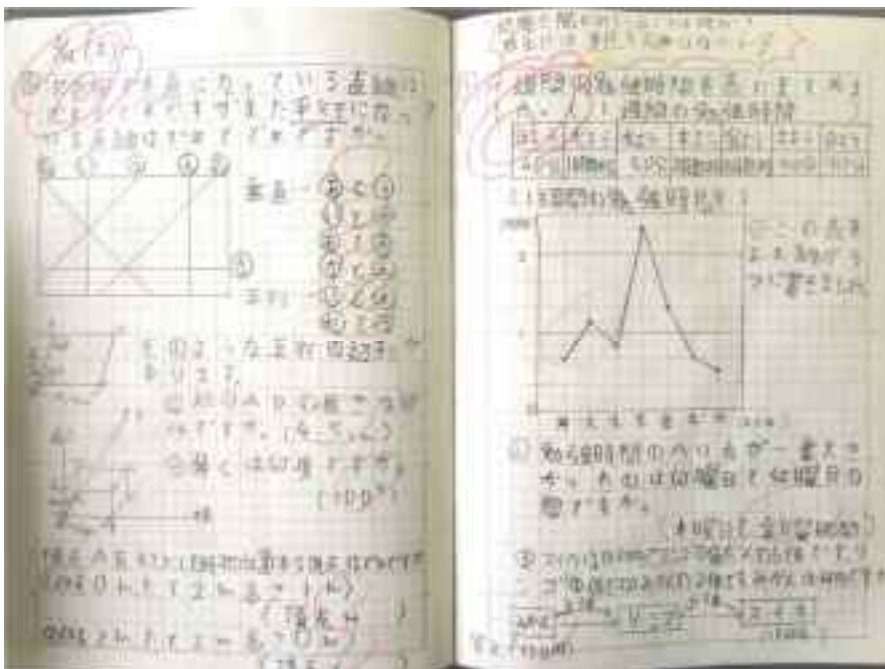
それは、見やすいノートほど思考を整理しや

すいからです。見やすいノートには、3つの

ポイントがあります。

見やすいノート のポイント！

- ①適度にスペースを空けて書く
- ②ノートに使う色は3色まで
- ③図表を使う



＝ 励ましのコメント

「風」は、帆掛け船にとって、推進力です。強くてよい風ほど船はよく進みます。家庭学習ノートにおいて、この風にあたるのは、親や学園の先生による「励ましのコメント」です。子どもたちにとって親や学園の先生からの「励ましの言葉」は、家庭学習ノートを続けるための最大のモチベーションになります。家庭学習ノートを、子どもをほめるための「ツール」にしてほしいと思います。

子どもが「認めてほしい」ことを、ほめるのがコツじゃ。



高学年

興味・応用

- 実力がつく学習ができているね。
- 意気込みが伝わってくる学習内容です！
- 気をゆるめずにがんばっているね。
- 苦手なところの復習ができている！

もっとコメント

- 楽しくて印象に残る学習ができているね。
- ふきだしを書いて分かりやすいね。
- 自分のためになる学習ができています。
- びっしり書けていて、技ありのノートです。
- テスト直しができてフォローばっちりだね。
- ポイントをおさえているね。

中学年

予習・復習

- ならったばかりの練習ができているね。
- 考え方が書けていてvery good！
- 3年生にふさわしい内ようですね。
- くふうして練習ができているね！

もっとコメント

- 分からないことにちょうせんできているね。
- 練習の成果がでてきているね。
- 毎日できているから力になっているね。
- 学力アップしそうな学習ができています。
- もうひといきで覚えられそうですね。
- 大切なところに線を引いて分かりやすいよ。

低学年

ていねいさ

- さいごまでていねいな字でかいているね。
- しゅう中してできたね！
- すごくいいべんきょうができているね。
- もくひょうがすばらしい！ いいね！

もっとコメント

- おもしろいべんきょうができているね。
- どんどんないようがよくなっているよ。
- べんきょうのしかたがうまくなっているよ。
- いろいろなべんきょうを考えるてんさいだね。
- ノートのつかいかたがじょうずだよ。



＝ 考える力（思考力）

航海にトラブルはつきものです。マニュアルだけでは対応できないことも出てきます。ここで、必要なのが、**今持っている知識を基に自分で考えて解決していく力**です。つまり**思考力**です。家庭学習ノートにおいても、夢に向かって進もうとするとき、基礎的な学習ばかりでは、これから求められる力に対応していくことはできません。学年に応じて**応用力を高める学習**へと学習の仕方を**スイッチ**していきましょう。

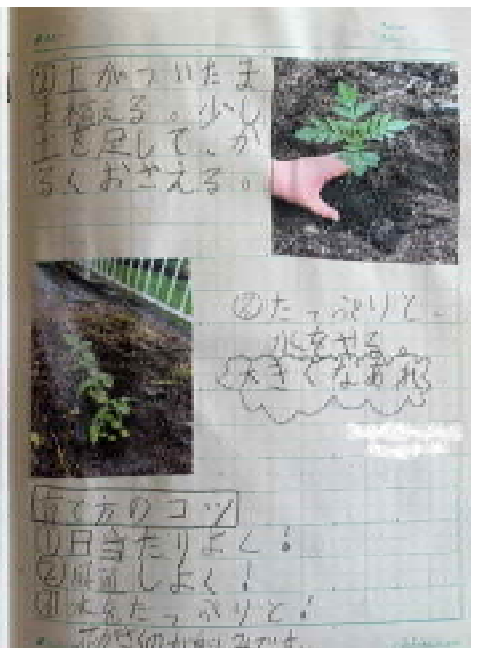
思考力を高める学習！！

- ・自分で実際に実験や観察を行い、結果を基に考えをまとめる。
- ・生活の中で算数の学習を活用した時のことをまとめる。
- ・新聞記事の内容をまとめ、自分の意見を書く。

などじゃ。ぜひ、挑戦してみよう！



例えば・・・



お買い物（レシート）調べ

植物を育てて観察記録をまとめる

家庭学習のイメージ

学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
学 習 内 容	プラスα		予習・復習		応用問題 <small>(授業で習った単元に關わる問題など)</small>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな ・かたかな ・プリント <small>先生から提示された宿題の部分</small>		<ul style="list-style-type: none"> ・計算 ・漢字 ・作文 ・音読 など 			
			家庭学習ノート <small>自分に合った学習の部分</small>			
学習時間 のめやす	20分+α	30分+α	40分	50分	60分	70分

レッツ 家庭学習ノート

準備はいいかい

- ① ひ 日づけ^かを書く。
- ② 「めあて」^かを書く。
がくしゅう
〔学習をする〕
- ③ 「ふり返り」^{かえ} ^かを書く。
- ④ じかん^か 時間^かを書く。
- ⑤ コメントをもらう。



めあて 日づけ 時間

ふり返り コメント